

## 第 74 回 NPO 日本口腔科学会総会・学術大会（Web 学会）を終えるにあたって



大会長 高木律男

1 か月におよぶ Web 学会もいよいよ終了となりました。この間も新型コロナウイルス肺炎（COVID-19 感染）は猛威を振るい、丁度学会開催予定であった 4 月 16 日（木）には全国への緊急事態宣言が発令されました。ある意味通常の学術集会などは全く行える状態ではありませんでした。

まずは、これまでに COVID-19 により亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、今も入院加療中の方には心よりお見舞い申しあげ、早期の回復・退院を祈念しております。また、13 都道府県を中心に、医療現場・施設等で患者さんの対応にあたられている関係各位のご苦勞に敬意を表し、各位が引き続き感染することなく収束に向かうこと祈っております。

さて、第 74 回 NPO 日本口腔科学会総会・学術大会は、4 月 15 日（水）に参加者は少人数でしたが会員各位より委任状をいただき、理事会、評議員会、会員総会を開催しました。また、同日から抄録を中心とする Web 学会として 5 月 15 日（金）まで 1 か月間開催させていただきました。これまでにない形式での学会運営となり、特別講演等をお願いした演者の皆様、会員各位には大変なご迷惑をおかけすることになり、繰り返しになりますが、この場をお借りしてご容赦いただきたいと思ひます。私としても非常に残念ではありますが、いつまでも悔やんでいても仕方ありません。Web 学会を終えるにあたり、皆様に御礼とご報告を兼ねてご挨拶させていただきます。

皆様のご協力で企画した内容は、先日参加証とともに抄録集として配布させていただきました。当初一般演題として登録いただいた演題数は口演発表 157 題、ポスター発表 161 題、計 318 題でした。3 月 1 日に抄録による Web 学会とする旨を発表し、取り下げが 12 題、最終的には 306 題の演題数となり、Web 学会賞を設定したところ、69 題の登録をいただき、学会賞選考を行いました。登録いただいた演題を見ますと、表で示した通り、基礎研究 92 題 (28.9%)、臨床研究 126 題 (39.6%)、症例報告 100 題 (31.5%)と、研究関係が約 7 割と多くを占め、口腔科学会としての特色が良く出ていると思ひます（表参照）。

3月1日以後、通常に前納していただいた学会参加費、研修会参加費等はすべて返納させていただき、新たに Web 学会参加費 5,000 円をお願いし、ID/PW、参加証、抄録集を配布させていただきました。新規に Web 学会に登録してくださった方は **607 人** におよびました。また、1 か月間(4/15～5/16)のアクセス数は **3,253 回** となっております。新潟にご参集いただけなかったのは残念ですが、多くの方にアクセスしていただき、誠にありがとうございました。少しでもお役に立てる学会であれば幸いです。

5月14日(昨日)39 県の緊急事態宣言が解除されました。残りの都道府県も新規感染者数等は明らかに減少しており、COVID-19 の収束に向かいつつあると感じます。しかし、WHO でも指摘している通り、下火になったとは言え完全な封じ込めは難しいと思います。緊急事態下での減少が、今度は COVID-19 と共存する生活で感染拡大させないような真の感染対策を実施できるかが勝負です。いくつかの波が小さく、医療崩壊につながらないことが大切で、少なくとも治療薬やワクチンの開発・承認され、一般に使用されるまでは、気を抜けない生活が続くことになると思います。今年の第 74 回 NPO 日本口腔科学会は COVID-19 に振り回されましたが、「医療は感染症との戦いである」という根本を心に刻むには十分な教育効果があったのではと感じています。来年大阪で阪井教授の元、第 75 回 NPO 日本口腔科学会総会が無事開催され、皆様と元気で会えることを祈念して、閉会の言葉とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

#### カテゴリー 1 分類

基礎研究	口演	22	小計	割合
	ポスター	70		
臨床研究	口演	73	126	39.62%
	ポスター	53		
症例報告	口演	62	100	31.45%
	ポスター	38		
	合計	<b>318</b>		
	口演	157	49.37%	
	ポスター	161	50.63%	

## カテゴリー 2 による分類

